

# 茅野町公民館報 伝書鳩

第28号 平成21年1月1日発行  
編集／発行 茅野町公民館  
〈茅野町区の人口統計〉  
世帯数…… 281世帯  
男…………… 321人  
女…………… 351人  
計…………… 672人  
平成20年11月1日現在（茅野市独自集計）



## 茅野町区の平成20年度活動キーワード

### 茅野町区は「人と人の心をつなぐふれあい ふれあいの町づくり」を目指します。

## 大正・昭和・平成と 時代は変われど 区民のふれあいは 変わらない

**【内 容】**

- 明日の茅野町を考える会開催 ……………②
- 駅前寄席・区民ゴルフ・ウォークラリー ……………③
- 助け合いおたがいさまマップ  
一年間の行事・役員紹介 ……………④

**【茅野町公民館ホームページアドレス】**  
<http://www.mid.janis.or.jp/~i-gogo/>



第1回駅前福祉推進委員会開催（1月28日）

誰かが住み慣れた地域で安心して、安全に暮らせるために、助け合いおたがいさまマップができました。

駅前福祉推進委員会による「助け合いおたがいさまマップ」が11月に完成しました。このマップは、

①何時発生するかわからない災害の発生時や、日常生活の中でお互いが助け合えるような組織づくりを行います。

②茅野町区内でいざという時支援を必要とする人、その手を差し伸べることができる方などの情報を集め、マップ（地図）を作成して、このマップ（地図）を活用することで緊急時に支援が必要な人の安否や、避難誘導などを行うことができるようにとしたものです。

「助け合いおたがいさまマップ」は別の言い方をすれば災害時要援護者支え合えマップとも言えます。駅前福祉推進委員会の皆さんが1月28日の計画からスタートして、11月10日のマップの完成まで、企画検討聞き取り調査と述べ8回の会合取材を重ねてのマップです。御苦労様でした。

## ——年の瀬にお正月に向けて——



もちつき大会の後、しめ縄教室が大勢の皆さんの参加のもと、開催されました。全員が立派なしめ縄を持って帰りました。



12月21日、3回に分けて6升のもちをつきました。お昼にあんころもち・のたまち・おはぎ・からみ大根等で、つくりたてを食べました。

**平成二十年度公民館役員**

公民館長……五味 千秋 主事……岩波 淳  
 学習部長……矢島 和弘 体レク部長……織田 鉄也  
 広報部長……手沢 新一

平成20年度の茅野町公民館「伝書鳩」の発刊にあたり、今年区長をはじめ多くの区民の皆様のご協力で、公民館の事業が無事終了しました。

そして区としてのキーワードが、公民館の責務として大きな原動力になり、多くの事業を大過なくできました。人と人のふれあいが沢山あればある程、心が豊かであるということも体験できました。

今年一年の皆様の支援とご協力、本当にありがとうございました。

分館長 五味 千秋  
 主事 岩波 淳

**編集後記**

**一年間の行事**

2月16・17日	公民館役員研修会
3月17日	茅野町女性交流会 すわこ八福神
4月	バレーボール練習開始
4月21日	第一回ゴルフ大会
6月1・2日	陶芸教室
8月3日	茅野どんばん 駅前連参加
8月24日	あんどん祭
9月21日	茅野町ウォークラリー
11月16日	そば打ち教室
11月22日	第二回ゴルフ大会
11月29日	第一回生け花教室
12月14日	世代間交流会 マリオールヤル会館
12月21日	しめ縄教室・もちつき大会
12月25日	茅野町イルミネーションコンテスト
12月27日	第二回生け花教室

# ふれあいの町づくりは、隣組からまず一歩

明日の茅野町を会考する

茅野町公民館は10月20日(月)、茅野町区の主な役員の方をお招きして「明日の茅野を考える会」を開きました。今年の区としてのキーワード「人と人をつなぐふれあい、ふれあいの町づくり」を一人一人が認識して、この茅野町が未来に向けて更に住みよい町、住んでいて良かったと思う町になるようにとの願いからです。

古くは大正、そして昭和、平成と時代の流れを振り返って来た時に、お年寄りの先輩諸氏から聞かれる言葉に「昔は良かった」があります。昔は何が良かったのか？その多くは社会全体が忙しくなったこと、豊かな評価基準が変化、核家族が主体となる社会構成から世代間交流の疎遠等、様々な負としての要因がありますが、地域での連帯感が人々の心を支えていたのが「昔は良かった」ではないでしょうか。

もう一方で、最近特に聞かれる様になった少子高齢化に拍車がかかり、様々な分野で地域としての特色が色あせ、その活動にも困難が伴うようになって参りました。以上の理由が全てとは思われませんが、「昔の良さ」を現代版に吹替えて、できるものからその一歩を踏み出す必要があります。



初めてさわるきねを振り下ろし、お正月を迎える気分を味わう。  
おもち、うまかつけたかな?(12月21日もちつき大会から)

## 隣から餅つきの音が聞こえてきたら、お裾分け用の餅皿を用意する。

今の時代、家族を主体とした核家族が進行する中で、核となる家族が一つの輪とすれば大変小さい輪であると感じます。その輪を二重三重に重ね合わせ、大きな輪にするか、またその輪を広げるためのものとして隣組の在り方が浮上して参ります。

以前のアンケート調査からも、ご近所とお付き合いの程度が、半数以上希薄になってしまっています。昔の良さを取り戻すためには、具体的に公民館等が主体となつて、隣組の輪を活性化に向けて、何らかの事業を計画の中に取入れることが必要であり、地域に根ざした息の長い草の根運動事業が、やがて区民同志としての意識の改革になれば、今抱えている諸問題も緩和される方向に向うのではないのでしょうか。

**キーワードは女性参画**

多くの意見の中で社会現象(少子高齢化)から、区としての運営が、限りある区民の参加で行われている限り、男女共同参画での推進でいかないと、近い将来息詰まる可能性が十分にあります。全ての役割を今までの既成概念から外し、男女が共同して街づくりを進め、協力して区の運営を行う必要があります。

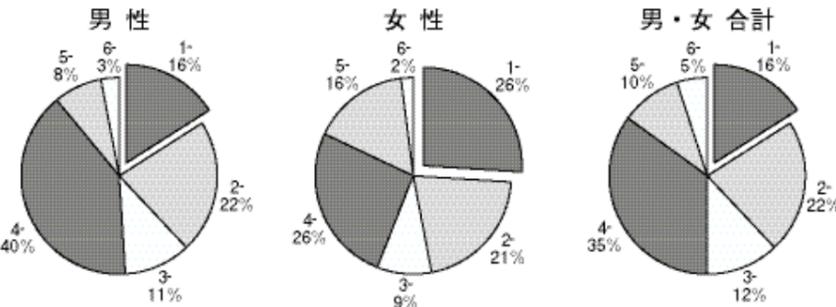
## 今後、区としてできる具体策(案)

- 1、今、目の前にある一番大きなハードルは少子高齢化です。少ないながらも地区の若者が、多くの社会参画のできる機会を作り、またそのための事業を行う必要があります。単年度の中期ビジョンの計画で行うのが良いと思われれます。
- 2、男女共同参画が区の活性化のためであり、多くの女性の参加を呼びかけ協力して、区としてのしくみづくりを行う必要があります。
- 3、隣組の中にも楽しく元気で豊かに暮らせるための、その活性化事業の研究をするとか、または専門委員会等で具体化に向けて研究調査すること、古くからの繋がりを十分に考慮しつつ、今の時代にあつた隣組を再構築が必要であるかどうかの時間を加えるのも必要です。
- 4、公民館事業として常に欠かせないのが、世代間交流を意識することが必要です。核家族がまともな地域です。地域としての活動展開とは、世代を超えた交流とそのため事業を推進しなければなりません。

## 平成19年度福祉推進委員会 アンケート調査から

あなたやあなたのご家族は、ご近所の方との程度のお付き合いをしていますか。

- 1 何か困った時に助け合えるような付き合い
- 2 一ちょっとしたことを頼み合える付き合い
- 3 お互いに訪問しあう程度の付き合い
- 4 一立ち話をする程度の付き合い
- 5 一挨拶をする程度の付き合い
- 6 一ほとんど付き合いはない



## 参加者(団体)

本年度区長(3名)・次年度区長予定者(2名)・平成19年区長・丁目会長代表・消防団ちの分団・区議会代表・氏子総代・駅前福祉推進委員会・駅前高齢者クラブ・明朗会・公民館茅野町分館

## 女性の笑いを活動源に 駅前寄席を開く

3月17日夜、女性限定として「駅前寄席」を公会堂で開きました。これからの公民館活動において、ママさんバレーも含めて特に女性のパワーが必要であり、この寄席の笑いから出発してもらいたいと、初の取り組みでの開催でした。お子さんからお年の方まで約40人が訪れ、諏訪市のアマチュア落語家「諏訪湖八福神」こと小平晴雄の創作落語に、笑いの連続で時間の経つのも忘れ、生の芸に大いに楽しむことができました。

女性限定で開いた「駅前寄席」。会場は笑いに包まれた。



## 平成20年茅野町公民館スローガン「ふれあいの町づくり」

**ゴルフコンペで 区民のふれあい**

春と秋にゴルフを通して交流を計る

恒例行事ではありますが、今年は春(平日)、秋(土、日)と二回に開催日を振り分けて、できるだけ多くの区民の皆さんが参加できるように開催しました。区としてのキーワード「人と人の心をつなぐふれあいの町づくり」を受け、沢山の区民の参加で楽しむことができました。

4月21日(月)のコンペは大変良い天候に恵まれ、場所はフォレストカントリークラブ三井の森。今年の初めてのプレーの方も含め、各ホール好プレーが繰り広げられ、シムベリア競技方式で順位を決めました。表彰式では参加者全員が日焼けした笑顔で集合、「パートナーに恵まれて」とか「メンバーが良かった」とか、それぞれのスコア結果に一喜一憂、和やかな中で締めくくることができました。

秋のコンペは寒さが気になる時期でしたが、11月22日(土)場所は春と同じフォレストカントリークラブ。文字どりの小春日和の天候に恵まれ、半袖でも良い位の陽気でした。これもひとえに今年の晴れ男、五味功区長のお陰と分館としてお礼申し上げます。そして初冠雪を頂いた雄大な八ヶ岳をバックに、今年地元でのプレーは今日が最後とホールアウトまで熱戦が続きました。また表彰式では全員が、持ちきれない程の用意された豪華景品を受け取って家路につきました。

## クイズで地元ふるさと再発見 初のウォークラリー

9月28日(日)茅野町ウォークラリーを公民館として初めて開催しました。ウォークラリーとは、町内の道路や交差点の分岐点だけ書いたコース図に従って歩き、コースの途中に設けられたチェックポイントで出題される幾つかの問題を解きます。そしてあらかじめ決められた所要時間に限りなく近い時間でゴールする競技(ゲーム)です。課題得点と時間得点の合計で順位が決ま



区長のおかげ！この天気。春のフォレストカントリークラブにて。



この石碑、漢字が多くて読めないよ！お母さん助けて。横内大天白社石碑の前で。



この説明文にヒントあり。これかな？大射原神社の前で。



親子でひと組、全員頑張りました。諸橋さん親子。初冠雪の八ヶ岳をバックに。



「本殿北側のケヤキの目通りはどの位あるかって」横内達屋酢蔵神社境内での問題。



この笠地蔵さん、左手に何を持っているのかな？横内回り場から問題が出ました。